

第3学年 総合的な学習の時間 学習指導案

1 単元名 わたしがつくる“未来”の熊谷 ～私は〇〇になって、熊谷を□□なまちにする～

2 単元の目標

熊谷市の将来の発展について、まちづくりの観点に沿って考えることを通して、地域における課題と自分自身の生き方との関わりに気づき、過ごしやすいまちにするために様々な立場で解決策を考えるとともに、学習してきたことをこれからの社会参画に生かすことができるようにする。また、国語科の学習で身に付けた言語能力を活用することで、社会生活の中から課題を見つけ、客観性や信頼性を確認しながら情報を収集し、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現できるようにする。

3 生徒の実態

令和5年度全国学力・学習状況調査結果によると、「生徒質問紙」の「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の質問に対し、肯定回答の生徒が前年度の3年生よりも大幅に増えた。1. 2年次の「熊谷」をテーマとした学習を通じ、郷土愛とともに、探究学習への意欲が醸成されたものとする。

一方で、本研究における生徒の実態調査「自分で調べた内容や考えをわかりやすく話して伝えることができますか」の質問に対し、「そう思う」と答えた生徒は3割程度にとどまった。本単元の活動を通じ、国語科で学習した「根拠を明確にした説明の仕方や相手を意識した話し方」の定着を図ることで、自己の生き方について自信を持って表現できるようになるのではないかと考えた。

4 単元について

本校では、総合的な学習の時間を「^{みしり}未知タイム」と称している。1年生の「未知タイム」の学習では「熊谷をPRしよう」というテーマで課題に取り組み、熊谷市についてより深く知る機会を設け、そこで得た知識をもとに熊谷市の魅力をPRする活動を行った。2年生の「未知タイム」の学習では「熊谷市議員として、提言しよう」というテーマで課題に取り組み、その魅力をPRするために熊谷市はどのような政策をおこなっているのか知り、自分だったらどのような政策を行うか考える活動を行った。

本教材では、3年間の集大成として、自分たちが住む熊谷市を理想のまちにするために、地域の実態や課題をふまえて「わたしがつくる“未来”の熊谷を紹介しよう」というテーマで課題解決を図っていく。

この学習では、「環境」「健康福祉」「観光」「教育文化」「安全・防災」「スポーツ」「産業」の7つの領域のゼミから、生徒の興味・関心に即して1つのゼミを選択させた。キャリア教育の観点もふまえて、選んだ領域において地域の発展に携われる人はどんな人なのか、そして、その仕事内容はどんなものなのかということを考えさせた。自分がその立場だったらどのようにして理想のまちをつくっていくかイメージをもたせることで、10年後、20年後、熊谷市に根付いて生きていける生徒の育成を目指している。

また、発表スライドの作り方、人に伝えるときの話し方は他教科との関連もふまえて工夫して指導を行った。同じゼミの仲間、教員と対話的な協働学習を行うことによって、個人の考えだけで進めていくのではなく、他者の意見をふまえた深い学びにつながっていくものとした。

5 単元の評価計画

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①課題の本質に迫るために、適切な調査方法で情報を集め、整理している。</p> <p>②地域に合わせた様々な特色があることを理解している。</p> <p>③理想のまちづくりについて調べることが、将来の自分たちの生活につながることに気付いている。</p>	<p>①各教科等で身に付けた資質・能力を活用・発揮し、学習に取り組んでいる。</p> <p>②理想のまちづくりのために、疑問や興味・関心をもとに課題を発見し、設定している。</p> <p>③地域の特色を多面的・多角的に見て、収集した情報を比較し、共通点や固有性を見つけながら、多様な情報を取捨選択して整理・分析している。</p> <p>④調べたことや考えたことが、相手にわかりやすく伝わるように、まとめ、表現を工夫して発表している。</p>	<p>①自らの興味・関心に基づいて設定したテーマの価値に気づき、意欲的・主体的に活動に取り組もうとしている。</p> <p>②自分たちの住む街の良さや課題を多面的・多角的に捉え、今後の生活に結び付けようとしている。</p> <p>③ゼミの仲間の考えや意見を尊重しながら、課題に対して調べたり、まとめたりしようとしている。</p>

6 単元の指導計画と評価計画（52 時間）

過程	○学習活動 ・生徒の思考	・指導上の留意点 ○評価（評価方法） ★他教科との関わり
<p>課題設定 (5)</p> <p>情報収集</p>	<p>課題① 熊谷市の現実と課題を考えよう (5 時間)</p> <p>○オリエンテーションを行う。(1) ・今期の総合的な学習の時間の進め方がわかった。</p> <p>○1・2年の学習の振り返りをおこなう。(1) ・1年のときは熊谷の魅力を発見して、2年のときは熊谷市の現状をふまえて政策を考えたな。</p> <p>○理想の熊谷市について考える。(3) ・「理想の熊谷」ってどんなまちだろう。 ・どんな職業になってどんな取り組みを行えば熊谷市を変えることができるかな。</p>	<p>・3年生で行う総合的な学習の時間のねらいや進め方について確認し、学習に見通しをもつことができるようにする。</p> <p>・1、2年生で学習した内容との系統性を意識させる。</p> <p>★言語能力【中2②社会生活の中の話題】</p> <p>・国語での既習内容に触れながら、学習を進められるようにする。</p> <p>○熊② (活動の様子・ワークシート)</p> <p>・自分が熊谷市に求めることを考え、他の人と意見を交流させる。</p> <p>・2年生で行った職場体験学習の内容をふまえ、それぞれの職業の役割と社会への効果を考えさせる。</p>
<p>課題設定</p> <p>情報収集 (13)</p>	<p>課題② 理想のまちについて考えよう (13 時間)</p> <p>○修学旅行で訪れる「京都」「奈良」のまちから自分たちのテーマに即したヒントを得る。(7)</p> <p>・交通の便利さがちがうのか？</p> <p>・京都や奈良が人気なのは建築物などの街並みも関係してるのかな。</p> <p>・京都や奈良はまちづくりのためにどんな政策をしているのかな。</p>	<p>★数学：標本調査とデータの活用(1)</p> <p>★数学：関数の利用(1)</p> <p>・数学での既習内容に触れながら、学習を進められるようにする。</p> <p>○思・判・表① (活動の様子)</p> <p>○知・技② (ワークシート)</p> <p>・「京都」「奈良」のまちの歴史や地理的な面から、まちの発展の理由を考えさせる。</p>

<p>整理 分析 まとめ 表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客にどのようなサービスをしているのかな。 ・お土産が売っている場所や陳列の仕方はどうだろう。 <p>○「京都」「奈良」で集めた情報を旅行記としてまとめ、自分たちの研究の材料にする。(6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都で有名なお菓子がいろいろなところで宣伝されていたな。 ・公共交通機関が充実していて移動が便利だった。 ・バリアフリーになっている場所が多かったな。 	<p>○思・判・表③ (ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の県や市がどのような政策をおこなっているか考えられるようにする。 <p>★言語能力【中3⑫目的や意図に応じた表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語での既習内容に触れながら、学習を進められるようにする。 <p>★英語：報告物の作成(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験活動を必須とし、文化や歴史に触れる機会をつくる。 ・修学旅行先で印象に残ったことを記録させる。 ・自分たちが撮ってきた写真を見ながら、熊谷市と比較できるように促す。 ・「旅行記」という形で自分たちが見てきたり、調べたりしてきたことを視覚化させる。
<p>課題 設定 (34)</p> <p>情報 収集</p> <p>整理 分析</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>課題③ 卒業研究の発表に向けて情報をまとめよう (34 時間)</p> </div> <p>○熊谷市の課題点をワークシートにまとめ、「理想のまち」を考える。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊谷市はもっと公共交通機関が充実できるといいな。 ・熊谷市の特産品を他の県内外問わずアピールできるといいな。 <p>○ワークシートを使って、それぞれの職業にできること、その効果を考え、卒業研究のテーマを決める。(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は市の職員になって熊谷市の道路を整備してバリアフリー化を進められるといいな。 ・私はYouTuberになって熊谷市の魅力を発信して、観光で多くの方が訪れるまちにできるといいな。 <p>○それぞれのテーマに即して7つのゼミに分かれ、理想の熊谷市をつくるための情報を集める。(8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じゼミを選んだ人はそんな視点から考えているのか。 ・現実味をもたせるにはどうすればいいのか？ <p>○発表の仕方や聞き手への効果的な伝え方、スライドの工夫について動画を観たり、グループで話し合ったりしながらまとめていく。(5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身振りや手ぶりを交えると聞き手の注意を引ける 	<p>○思・判・表② (ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって学習に取り組めるよう、ゴール地点を明確にして説明する。 ・身近な課題から考えていけるように促す。 <p>★言語能力【中3⑬客観性や信頼性のある情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語での既習内容に触れながら、学習を進められるようにする。 <p>○態① (活動の様子・ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの職業の性質と自分が選んだテーマが合致するように注意させる。 <p>○知・技① (ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の興味、関心に即してゼミを選ぶように促す。 ・インターネットや書籍の情報を並べていくだけではなく、自分の考えをふまえて考えていくことを伝える。 <ul style="list-style-type: none"> ・効果的な発表の手本として動画を見せ、参考にするように促す。 ・手本の発表の良いところはどこなのか、なぜいいのかを考えさせる。 ・現時点での互いの話し方や内容を評価し合い、それを伝え合う

	<p>な。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字の大きさや画像の出し方も考えよう。 <p>○他学年の総合的な学習の時間の発表や、熊谷市長の話を聞いて、発表の仕方や内容を考える。(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市長の思いをふまえた発表ができるといいな。 ・他学年の発表の良いところを参考にしたいな。 <p>まとめ表現</p> <p>○わたしがつくる“未来”の熊谷をわかりやすく紹介する。(4) 本時 (1/4時) (2/4時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の人の発表を聞いて、私の発表の足りないところがあった。 ・もう少し、スライドの提示の仕方を工夫しよう。 ・相手を意識して話したり、聞き手とのやりとりがあったりしたほうが聞いてもらいやすい。 ・自分の主張により説得力を持たせるために他の市の事例やグラフと結びつけたほうがいいな。 <p>課題設定</p> <p>○中間発表を受けて、さらに発表内容を充実させるための調べ学習を行う。(5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間発表時に出た質問についてさらに深掘りしている。 <p>情報収集</p> <p>○卒業研究発表会を行う。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなに自分の発表を聞いてもらい、良い評価をもらえたことで認められた。 ・将来、自分が考えた案を現実に行きたいな。 ・説得力のある発表をするために大事なことが分かった。 <p>整理分析</p> <p>○単元の振り返りを行う。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来、熊谷市のために力になれるようにしよう。 ・熊谷市のために今からできることも考えてみよう。 ・今回学んだ発表の仕方をこれからに生かしていこう。 	<p>せることで、相互に改善点に気がつき、相手の発表を参考にするように促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊谷市長の思いを参考にしながら仕上げるように促す。 ・他学年の話し方、資料の提示の仕方を参考にさせる。 <p>★言語能力【中2①表現の工夫】</p> <p>○思・判・表④ (活動の様子)</p> <p>○熊② (活動の様子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表の前にわかりやすく発表するために原稿を校正させる。 ・相手の発表を聞いて、評価したり、感想を述べたりする時間を作る。 ・発表者は聞き手の評価や感想を受けて、内容をさらに発展させていくようにする。 <p>○熊③ (活動の様子)</p> <p>★社会：持続可能な社会の実現に向けて(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会での既習内容に触れながら、学習を進められるようにする。 <p>★言語能力【中3⑩表現の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語での既習内容に触れながら、学習を進められるようにする。 <p>○知・技③ (活動の様子)</p> <p>★理科：持続可能な社会をつくるために(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理科での既習内容に触れながら、学習を進められるようにする。 ・ワークシートを用いて、1年間の学習を振り返ることができるようにする。 ・学習したことをこれからの生活にどのように生かしていきたいかを考えていく。
--	--	--

7 本時 (42, 43 / 52 時間)

(1) 授業者 : 倉林通裕教諭、藤田 豪教諭、塚田翔太教諭

猪野研史教諭、吉田昂平教諭、永井浩子教諭、根本彩香教諭

(2) 授業場所 : 3-1、3-2、3-3、3-4、7組、進路指導室、特活室

(3) 本時のねらい

①話し方を工夫したり、図やグラフを効果的に提示したりして自分の考えを伝えることができる。
(思考力、判断力、表現力等)

②自分たちの住む街の良さや課題を多面的・多角的に捉え、今後の生活に結び付けようとしている。
(学びに向かう力、人間性等)

(4) 展開 (前半 50 分、後半 50 分)

学習活動	学習内容	○指導上の留意点 (配慮・手だて) ◎評価								
<p>前半 (50分)</p> <p>1 本時(前半)の目標を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>“わかりやすい発表” について考えよう!</p> </div> <p>2 学習の流れを知り、見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>総合①のタイムスケジュール</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 スピーチメモ</td> <td style="width: 50%;">4分</td> </tr> <tr> <td>2 グループスピーチ</td> <td>1分×4</td> </tr> <tr> <td>3 評価・感想記入</td> <td>3分×4</td> </tr> <tr> <td>4 次時への準備</td> <td>残り時間</td> </tr> </table> </div> <p>3 写真 (犬猫) 1枚、グラフ(ペット飼育数の現状) 1つを提示し、それぞれの資料を用いたスピーチメモを書く。</p>	1 スピーチメモ	4分	2 グループスピーチ	1分×4	3 評価・感想記入	3分×4	4 次時への準備	残り時間	<p>○資料を根拠とした説明の仕方 【中2①表現の工夫】 ・意見の根拠の設定</p>	<p>○後半の研究中間発表に生かしていくことを意識させる。</p> <p>○タイムスケジュールを提示することで、この時間は何に取り組むのか、視覚的に捉えられるようにする。</p> <p>○写真、グラフを使って「犬と猫どちらが魅力的か」というテーマでスピーチをすることを伝える。</p> <p>○2人組をつくらせ、それぞれ写真担当、グラフ担当を決める。</p> <p>○資料の他にも自分の体験など根拠を明確にしたスピーチすることを伝える。</p> <p>○なかなかメモの作成が進まない生徒には、写真やグラフを用いたスピーチを例示し、個別に支援する。</p>
1 スピーチメモ	4分									
2 グループスピーチ	1分×4									
3 評価・感想記入	3分×4									
4 次時への準備	残り時間									
<p>1 写真やグラフの例 : A (犬と猫) B (ペット飼育数の現状)</p> <p>2 スピーチの例</p> <p>A 私は猫の方が魅力的だと思う。写真を見てほしい。犬の方が体長が大きいものが多い、その分飼うためのスペースや食費がかかる。実際、私の近所にも犬を飼っているご家庭があるが……など</p>										
<p>4 スピーチメモをもとに、4人組で写真、グラフをふまえたスピーチを行う。</p>	<p>○資料を根拠とした説明の仕方 【中2①表現の工夫】</p> <p>○情報の捉え方、資料とスピーチの関連性、説得力</p> <p>○聞き手を意識した話し方</p>	<p>◎話し方を工夫したり、図やグラフを効果的に提示したりして自分の考えを伝えることができる。</p> <p>思・判・表④ (活動の様子)</p> <p>○互いのスピーチに対してメモをとらせる。</p> <p>○同じ写真・グラフを選んだ人がどのようなスピーチをするのか比較させる。</p> <p>○後ほど校正するためにタブレットを使ってスピーチを録画させておく。</p>								

5 スピーチについて評価・感想を書き、伝え合う。	○評価・感想の観点	○観点を意識して相手に伝えるようにさせる。 ○どんな発表がわかりやすかったか全体で共有させる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>1 評価・感想の観点</p> <p>① わかりやすさ（主張と写真・図の結びつき）</p> <p>② 内容に合った評価・感想</p> <p>2 予想される生徒の評価・感想の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の体験談から意見に説得力を持たせていたので、私も参考にしたいと思う。しかし、犬種によっては小さい犬もいるので、「犬の方が食費がかかる」という主張が当てはまるか気になった。 </div>		
6 総合①を振り返りながら次時の発表に向けて校正を行う。		<p>○グループからの意見、先ほど録画した動画を参考に校正をさせる。</p> <p>○わかりやすい発表について全体で確認したことを参考にして校正させる。</p> <p>○中間発表で写真やグラフを使って特に伝えたい部分をペアで発表し合い、わかりやすさを確認させる。</p> <p>○なかなか校正が進まない生徒には、個別に支援する。</p>
後半（50分）		
7 本時(後半)の目標を確認する		
8 卒業研究「わたしがつくる“未来”の熊谷」の中間発表を行う。	○資料を根拠とした説明の仕方 【中2①表現の工夫】	<p>○話し方を工夫したり、図やグラフを効果的に提示したりして自分の考えを伝えることができる。</p> <p>思・判・表④（活動の様子・スライド）</p> <p>○4分間程度を目安に発表させる。</p> <p>○前半で学んだことを発表に生かせるようにすることを伝える。</p>
わたしがつくる“未来”の熊谷を紹介しよう！		
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>生徒の発表例</p> <p>テーマ【わたしはユーチューバーになって、熊谷を暑さ以外でも有名なまちにする！】</p> <p>みなさんは熊谷市といえばどんなイメージを持っていますか？ また、他県、他市町村の人たちからはどのようなイメージを持たれていると思いますか？ 実は〇〇という団体がおこなった調査によると〇%の人たちが熊谷市は「〇〇」というイメージを持っているということが分かりました。熊谷市にどんどんプラスのイメージを持ってもらうためにも私はユーチューバーになって……</p> <p>テーマ【わたしは教育長になって、熊谷を英語に強いまちにする！】</p> <p>みなさんは英語が得意ですか？ 熊谷市に比べると〇〇市のほうが英語に強いと〇〇の方が言っていました。〇〇市は英検が〇回までは無料で受けられるそうです。このように熊谷市も英検を積極的に受験できるようにする取り組みを入れた方がいいのではないかと思います。また、英語が話せる人は幼い頃から英語に触れているのではないかと私は考えました。グラフを見ると……</p> </div>		

<p>9 中間発表についての評価・感想・質疑等をリアクションカードに書く。</p> <p>10 総合②の振り返りを行う。</p>	<p>○評価・感想・質疑等の観点</p>	<p>○観点を意識して書けるようにする。</p> <p>○人数の多いゼミクラスは誰の発表にリアクションカードを書くかを決めておき、発表者がもらう枚数が多くなりすぎないようにする。</p> <p>○発表者には、リアクションカードをもとに発表者用振り返りシートを書かせる。</p> <p>○聞き手には、発表者の発表を聞いて自身の発表に生かしたいことを書かせる。</p>
<p>1 振り返りの観点</p> <p>① これまでの授業で学んだ「話し方の工夫」を意識して発表することができたか。</p> <p>② 図やグラフなどを効果的に使って、わかりやすい発表ができたか。</p> <p>2 振り返りの例</p> <p>・私は、これまでの授業で学んだわかりやすく発表する工夫を意識することができた。自分の意見に図やグラフを結びつけることで資料を効果的に使い、聞き手の興味や関心を引くことができていると感じた。他にも……</p>		
<p>11 振り返りを発表し、次時への課題へとつなげる。</p>		<p>○発表者、聞き手はそれぞれの感想、生かしたいことを発表する。</p> <p>○自分たちの住む街の良さや課題を多面的・多角的に捉え、今後の生活に結び付けようとしている。</p> <p>態② (ワークシート)</p> <p>○本時の学習課題に対する自分の学びがどうであったか振り返らせ、次時への意欲を高める。</p>